



Vol.
206
2026新年号

キヨウト シール ツウシン Kyoto SeeL通信



新年のご挨拶

公益財団法人京都府生活衛生営業指導センター 代表理事

山岡景一郎

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、ご健勝で輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素から生活衛生営業指導センターの業務運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申上げます。

さて、太平洋戦争の終戦から80年の節目として、不戦と平和への誓いを新たにした昨年を振り返りますと、私たちの生活に大きな影響を及ぼした夏の記録的な高温と異常気象、また、それを背景とした生産コストの上昇等による米の価格高騰が日常生活に大きな影響を及ぼしました。こうした問題の根本的な解決には、世界中の人々が強い問題意識の下、莫知を結集するとともに、身近な取組みを積み重ねることが引き続き求められているところです。

また、高度経済成長期の前後から整備された道路や水道、橋といったインフラ施設が急速に老朽化し、それによる道路の陥没事故も問題となり、私たちの生活の身近な安心安全の確保の必要性を再認識したところです。

一方、昨年は「大阪・関西万博」が大阪市の夢洲で開催され、158の国地域が参加し、半年間の会期で2500万人を超える人々が来場されました。私も足を運んできましたが、国際交流のみ

ならず、雇用創出や消費拡大による地域経済への貢献などに大きな成果があり、関西全体に好影響があったものと喜んでいます。

こうしたことを背景に、大変多くの外国人観光客が京都を訪れていますが、原油・原材料価格やそれを受けた物価高騰等の波も引き続き押し寄せています。

このような課題があるものの、私どもは、日常生活に欠かせない、府民・市民の皆様に密着した生活衛生営業を生業(なりわい)としていることから、経費が増加したからと言って、それをそのまま、すぐに価格転嫁することができない厳しい経営環境があります。さらには、後継者難、従業員の確保難などの根本的な課題を抱えている現実があります。

このように、生活衛生営業を取り巻く環境は、従前にも増して厳しいところがありますが、当指導センターにおきましても、生衛業が更に発展していくよう、関係者の皆様と共に頑張りたいと思っております。

結びに、今年一年が平和で安心して暮らせる年となること、そして、皆様のご健勝とご多幸、ご家業の繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



未来に向けて輝き続ける 京都づくりに挑戦 京都府知事 西脇 隆俊

あけましておめでとうございます。府民の皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、「大阪・関西万博」の開催を通じて、多くの方に京都の伝統から革新までさまざまな魅力に触れていただきました。また同時に、文化庁の京都移転から3年目を迎え、国と協力して新しい文化政策を京都から創り上げ、世界に向けて発信できることにより、改めて、京都の文化力の奥深さを再認識する機会ともなりました。

「美しい花を咲かせ続けるには、停滞することなく、変化し続けなければならない」。これは、室町時代に能を大成した世阿弥が「風姿花伝」に残した後人への心得です。当時の大衆芸能であった猿楽を磨き上げ、日本が世界に誇れる芸術である能へと昇華させていった世阿弥は、常に変化を恐れず進化していく努力の大切さを花に例えて説きました。千年の京都の歴史と文化も、そのときどきの先人たちが絶え間なく変化を繰り返して育てあげてきた、かけがえのない財産であり、国内外

から多くの方が訪れる京都の魅力の源泉です。そして、時代の変化を柔軟に受け容れ、常に技術の進歩を人々の幸せにしなやかに結び付ける文化と心根が、今も昔も京都でイノベーションを生み出し続ける原動力となっています。

本年は、こうした先人たちからの「贈りもの」を活かして、人と人との絆や京都府と府民の皆さまとの信頼関係を大切にしながら取り組んできた、京都府総合計画の最終年度を迎えます。全ての営みの土台となる安心を確かなものとし、府民の皆さまが、未来を担う子どもたちをあたたかく育みながら、将来に向かって夢を抱いていける、「あたたかい京都づくり」を実感いただけるよう、取り組んでまいります。

私たちが生きる現代は、人口減少・少子高齢化に加え、気候変動やAIによる技術革新など、大きな変革期にあります。先行きを見通せない今こそ、京都の魅力を支える府民の皆さまや京都を訪れる多彩な人材と共に、先人から引き継いだ京都の魅力の源泉を磨き上げてまいります。そして、今年の干支「牛」が象徴する、飛躍し、力強く前進する馬の如く、直面する課題を一つずつ乗り越えながら、前へ前へと絶えず成長を続ける、輝き続ける京都を実現してまいりたいと考えております。

今年一年の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



～京都の理想の実現に向けて 歩み出す一年に～ 京都市長 松井 孝治

あけまして、おめでとうございます。
皆様にとって素晴らしい一年となりますことを、
心からお祈りいたします。

さて、昨年末に、京都が千年以上にわたり継承してきた自然、歴史、文化などの「まち柄」を確認し、世界と日本、そして京都の現状を踏まえ、2050年を展望した京都のまちの羅針盤となる「京都基本構想」を策定しました。この構想は、京都の各分野を代表する方々、高校生や大学生をはじめ、25年後の京都でオピニオンリーダーになるような若い方々など多くの市民の皆様と、京都のまちが未来に向けて何を大切にすべきかについて意見を出し合い、議論を重ねた結晶です。

今後はこの構想の理念や価値観を拠り所に、「新京都戦略」を改定するなど、具体的な政策を開拓していくなければなりません。

京都では長い都市の歴史の中で、祇園祭をはじめとする年中行事や、人間の極致を体現する伝統産業や芸能、そして自然と共生する暮らしの文化が育まれてきました。これらを支えてきたのが、

文化芸術、学問、産業、歴史、スポーツ、地域活動など、京都のあらゆる分野で技藝や技能を有し、人を惹きつける磁力をを持つ方々、いわば「京都学藝衆」です。これらの方々の技や経験、想いを次の世代へと大に伝えていくことが地域や国内外の人々から愛される唯一無二の価値を持つ京都の未来につながります。

京都市といたしましても、公園や図書館といった公共空間をもっと市民の皆様に開き、未来を担う子どもたちや若者が、市井に息づく豊かな知恵や学藝に触れる機会を創出し、「夢中」と「感動」が溢れるまちを実現してまいります。

そして、文化芸術、ものづくり、自治の伝統など京都の強みを生かし、若者の起業支援や新産業の創出、企業誘致などの取組を推進し、多彩な人々が交ざり合い、新たな価値を創造し、日本中、世界中の人々から、住みたい、働きたい、活躍したいと思われ、選ばれるまちを目指して様々なチャレンジを重ねてまいります。

新たな四半世紀に向けたスタートとなる今年の干支は「丙午（ひのえうま）」です。物事を力強く前進する意味が込められています。様々な課題を乗り越え、今日の京都の発展を築いてこられた先人の心意気を大切に、誰もが幸せを感じ、互いにつながり、支え合い、生きがいを持って活躍できる。そのような京都の理想の実現に向け、力強い一步を踏み出してまいります。

栄えある受章・受賞おめでとうございます

令和7年11月21日、京都ガーデンパレスにおいて生活衛生功労者表彰式を開催しました。永年にわたり生活衛生の推進に貢献され、衛生水準の向上並びに業界の育成指導において顕著な功績が認められた次の方々が受章・受賞されました。

令和7年度生活衛生功労表彰者 (敬称略)

旭日双光章

京都府中華料理生活衛生同業組合 前理事長

上野 博史

厚生労働大臣表彰

理容	岩崎 光哲	食肉	岡山 繁夫
食肉	木村 昌彦*	美容業	栗津 暢彦*

中央会理事長表彰

美容業	宜本 一之	麵類飲食業	中塚 博己
	山口 真澄*	中華料理	杉山 公和

*中央推薦

知事表彰

旅館ホテル	坂本 忠典	寿司	前川 昇平
食肉	重國 利一	中華料理	濱村 吉行
美容業	向井 章司	料理	高澤 陽一
麵類飲食業	堀部 和宏	飲食業	若杉 一利

協議会会长表彰

クリーニング	橋本 博文	美容業	増田 猛
クリーニング	伊豆田省造	美容業	谷口 直彦
クリーニング	亀田 晋一		



生活衛生営業経営研修会 令和7年11月21日

「伝える側として、心が震えた瞬間」

講師：経済キャスター 小谷 真生子 氏

長年の報道経験から、自分自身の価値基準に立って現実を直視し、その本質を伝える姿勢の重要性についてお話をいただきました。阪神・淡路大震災や国際紛争の取材では、現場に立つ覚悟が言葉に重みと説得力を生むことを実感、また、企業経営者への取材からは、創業の理念や原点に立ち返る意思こそが、人や社会と向き合い、組織を動かす力になると語られました。地域に根ざす生活衛生営業においても、自らの軸を持ち、誠実に価値を伝え続ける姿勢が信頼と事業の持続につながることを再認識する研修会となりました。



指導センター事業開催報告

指導センター理事会・協議会理事会 令和7年6月3日 指導センター定時評議員会・臨時理事会 令和7年6月19日

理事会では、令和6年度事業報告(案)・決算書(案)、評議員会の招集及び議案について、協議会理事会では、令和6年度事業報告、収支決算報告、監査報告並びに剰余金処分(案)について審議が行われ、原案どおり承認されました。

定時評議員会では、令和6年度事業報告・決算承認、令和7年度事業計画・収支予算、任期満了に伴う次期評議員選任、任期満了に伴う次期役員(理事・監事)選任について、臨時理事会では、次期理事長(代表理事)・副理事長・専務理事及び常務理事を定める件について審議が行われ、原案どおり承認されました。



生活衛生改善融資推薦団体連絡協議会 経営特別相談員研修会 令和7年9月26日

生活衛生改善融資推薦団体連絡協議会

日本政策金融公庫より生活衛生改善貸付の推薦事務及び経営改善資金特別貸付の限度額拡充に関する留意事項の説明がありました。喫茶飲食組合の山田喜久夫経営特別相談員からは、組合員が安心して制度を利用できるよう面談時に心がけていること、そして「この制度は組合加入の大きなメリット。特相員こそが積極的に活用を示していく必要がある」との発表があり、融資を活用した経営支援の連携強化を確認しました。



経営特別相談員研修会

「自身の収益不動産資産形成過程と京都不動産の未来」
講師：エム'ズエステート株式会社 代表取締役 岡本 将人 氏

不動産賃貸業を通じた資産形成と事業承継について、京都の立地特性を活かした物件選定、法人所有による税務対策、長期的視点での資産価値維持など、具体的な事例を交えて解説いただきました。人口減少社会を見据えた立地選択の重要性や、インフラ維持が可能な地域への投資戦略についても学び、出席者からは活発な質疑応答があり、事業の持続と次世代への承継を考える有意義な研修会となりました。



活動推進会議及び衛生水準の確保・向上推進会議 生活衛生同業組合事務局連絡会議 令和7年10月3日

各生衛組合事務局、京都府、京都市、日本政策金融公庫が出席し、令和7年度の生活衛生同業組合活動推進月間及び衛生水準の確保・向上事業について協議しました。行動計画及び実施報告書の作成、新規営業許可店舗名簿を活用したダイレクトメールの実施など、組合員加入勧奨と組合活動推進の具体策を確認しました。また、最近の取組事業について組合から資料提供や発表があり、地道な活動の継続がこれからも成果につながることを共有しました。

組合事務局との連絡会議では、京都SeeLフェアの開催や組合事業の情報発信について、京都府振興事業及び京都市研修等共催事業の説明と確認を行い、今後の連携を深めました。



| 第45回京都SeeLフェア 令和7年11月3日

府民交流フェスタと同時開催で、『京都SeeLフェア』(会場:京都府立植物園)を開催しました。生活衛生同業組合によるくせいいお楽しみ福袋の販売と当指導センターによる生活衛生業の広報・啓発活動を実施。当日は時折雨が差す秋空の下、毎年楽しみに足を運んでくださる方々、ブース前で「生活衛生同業組合って何?」「どんな活動をしているの?」と質問をくださる方々との会話で賑わいました。「初めて知ることができて良かった」「生活に身近で親しみが持てた」との嬉しい声をいただき、福袋も大好評。多くの方々との温かい交流に恵まれ、生活衛生業への理解と関心を深めていただけた一日となりました。



| 後継者育成支援事業出前授業

クリーニング組合 | 京都市立洛西中学校 令和7年6月6日

プロ仕様のアイロンでワイシャツのアイロン掛けの実演やドライ溶剤と水の違いをティッシュペーパーで実験し、型崩れの違いを視覚的に示しました。クリーニング店の仕事内容ややりがいについて丁寧に説明し、生徒からは「知らないことが知れて面白い」「自分も挑戦したい」との感想があり、クリーニング技術への理解と関心が深まりました。



寿司組合 | 京都市立下鴨中学校 令和7年9月1日

講師によるエビと胡瓜のにぎりの実演後、生徒も2種類のにぎりに挑戦。講師のアドバイスを受けながら熱心に取り組み、自分で作ったにぎりを試食しました。その後、寿司職人のやりがいや苦労など仕事について質問が相次ぎ、講師が丁寧に回答。多くの生徒が興味を示し、寿司職人という職業への具体的なイメージを持つ機会となりました。



美容業組合 | 京都市立松尾中学校 令和7年10月28日

生徒をモデルに実演しながら、美容師の仕事内容や接客サービスについて説明。ヘアカラーティークでは、生徒一人ひとりが好みの色を選び毛染めに挑戦しました。講師からは仕事の魅力とともに、夢や出会い、経験の大切さが語られ、生徒たちの未来へエールが送されました。生徒の半数以上が美容師への興味を示し、キャリア選択を考える貴重な時間となりました。



麺類飲食業組合 | 京都市立洛風中学校 令和7年12月10日

そば職人の仕事内容や店舗運営について画像を交えて説明し、生徒の質問に丁寧に回答。講師による手打ちそばの実演では、こね、のし、切るの工程をわかりやすく解説しました。班に分かれた生徒たちは「切る」工程に挑戦。職人技の難しさを実感しながら試行錯誤する姿が印象的で、技術の奥深さを体感する授業となりました。



| クリーニング業務従事者講習 令和7年10月1日 クリーニング師研修 令和7年11月16日

クリーニング師及び業務従事者を対象とした研修・講習を実施しました。「クリーニング所における衛生管理要領」「労働安全衛生法施行令等」の解説や、トラブル事例をえた素材・加工・取扱い表示の知識習得を通じて、事故回避力とクレーム防止力の向上を図りました。時代に即した衛生意識と適切な対応力の強化により、業務の適正な遂行と消費者からの信頼確保につながる研修・講習となりました。

生活衛生同業組合ニュース

●クリーニング組合

環境配慮と地域安全を両立！～京都府警との「安全・安心まちづくり」協定を締結～



令和7年12月1日、京都府警察本部との「安全・安心まちづくり」に関する協定の締結式が行われました。一昨年、支部有志が特殊詐欺注意喚起バッグを自主作成したことをきっかけに、この取り組みを府内全域に拡大。「厚労省生活衛生関係営業対策事業補助金」を活用し、ポリ袋削減にも対応した防犯文言入りエコバッグが作成されました。協定では配達時の子ども見守り活動や接客時の防犯情報提供などが実施され、環境配慮と地域安全を両立させた、生活衛生業ならではの社会貢献として全国への波及が期待されています。



組合HP

●公衆浴場業組合

銭湯で四季を巡る「二十四節気湯めぐり」 スタンプラリー好評開催中！

京都市内78の個性豊かな銭湯を舞台に、二十四節気に合わせて巡る通年イベント

【京都銭湯 二十四節気湯めぐり】が好評開催中です。節気ごとに変わる限定ステッカーを集めながら、個性豊かな銭湯の魅力を堪能できます。訪問数に応じた達成証の進呈やSNSでのお楽しみ企画も。参加は無料で、市内組合加盟銭湯で「湯めぐり帖」入手するだけ。京都の銭湯でめぐりゆく季節を味わいませんか。



組合HP



組合HP

●喫茶飲食組合

「文化をつなぐ、場のちから」 講習会を1月22日開催

京都の喫茶店が持つ「場のちから」をテーマに、京都市総合計画審議会特別委員をはじめ国内外で幅広く活動されている野村将揮氏を迎えて講習会を開催。人と思想が交わる場の本質を掘り下げ、文化の継承と経済の関係性を問い直します。伝統と未来をつなぐ思考の糸口を探る貴重な機会です。

日時：1月22日(木)16:30～
会場：ホテルモントレ京都
お問い合わせは組合事務所(075-256-1647)まで。



組合HP



確定申告
スマホとマイナンバーカードで!
自宅からe-Taxで完結!

既に **74%** の方が利用しています

- ◆ 24時間オンラインで申告可能
(※メンテナンス時間を除く)
- ◆ マイナボータル連携で自動入力

マイナンバーカードおよび電子証明書の有効期限にご注意を。
← 詳細はこちら

確定申告特集 国税庁

<標準営業約款登録日>
令和8年2月1日



標準営業約款(Sマーク)は
確かな技術と共にお客様へ
安全・安心をお約束する目印です。



Kyoto SeeL通信
Vol.206 2026新年号

編集・発行人

山岡景一郎

公益財団法人
京都府生活衛生営業指導センター

京都市南区東九条下殿田町70
京都テルサ 東館1階
TEL 075-661-6661
<https://www.kyoto-seel.com>

Homepage Facebook

